## 稲美町子育て支援拠点施設整備基本計画

平成 30 年3月 稲 美 町

### 稲美町子育て支援拠点施設整備基本計画

### -目 次-

I. M	i設の基本的な考え方	1
1.	計画策定の趣旨	1
2.	上位・関連計画における位置づけ	2
3.	施設のコンセプト	6
4.	施設機能の概要	7
5.	建設候補地エリア	8
6.	建設候補地の選定にむけて	9
I. 子	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	14
1.	子どもを取り巻く現状と課題	14
2.	子育て支援拠点施設の現状と課題	17
3.	子育て支援拠点施設への要望からみた課題	22
4.	高齢者を取り巻く現状と課題	27
5.	新たな子育て支援拠点施設整備にむけて	29
Ⅲ. 施	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	30
Ⅲ. 施		
1.		30
1. 2.	敷地利用計画	30 31
1. 2. 3.	敷地利用計画 諸室の構成	30 31 33
1. 2. 3. 4.	敷地利用計画	30 31 33
1. 2. 3. 4. 5.	<ul><li>敷地利用計画</li><li>諸室の構成</li><li>諸室の配置イメージ</li><li>各ゾーンの利用イメージ</li></ul>	30 31 33 34 35
1. 2. 3. 4. 5. <b>IV.</b> 施	敷地利用計画諸室の構成諸室の配置イメージ各ゾーンの利用イメージ機能別整備イメージ	30 31 33 34 35
1. 2. 3. 4. 5. <b>IV.</b> 放 1.	敷地利用計画 諸室の構成 諸室の配置イメージ 各ゾーンの利用イメージ 機能別整備イメージ <b>設運営の考え方</b>	30 31 33 34 35 38
1. 2. 3. 4. 5. <b>IV.</b> 放 1. 2.	敷地利用計画         諸室の構成         器室の配置イメージ         各ゾーンの利用イメージ         機能別整備イメージ <b>設運営の考え方</b> 管理・運営の基本方針         その他	303134353838
1. 2. 3. 4. 5. W. 放 1. 2. V. 整	敷地利用計画	303134353838

### I.施設の基本的な考え方

### 1. 計画策定の趣旨

少子化や核家族化の進行、女性の社会進出による共働き家庭の増加、地域の相互扶助機能の低下などにより、子どもや子育てをめぐる環境は大きく変化しています。

こうした社会変化は、子どもや保護者同士の交流機会の減少をもたらし、保護者の 孤独感、不安感の増大をもたらし、育児ストレスなどを招く原因となっています。

このような課題に対応するためには、子どもたちが多様な世代との交流を通じて様々な経験・体験ができる場や保護者が安心して相談できる場の整備が欠かせません。

本町には、子育てや育児に関する悩みを気軽に相談できる場として、稲美町子育て支援センター(以下、「子育て支援センター」という。)があります。また、異年齢の子どもたちが集い、子どもたちの育ちに必要な「遊び」や「生活」を提供する場として、稲美町立コスモス児童館(以下、「コスモス児童館」という。)があります。

しかし、子育て支援センターは、稲美町いきがい創造センター内の一部を利用しているため、「いつでも遊べるスペースがない」といった課題があります。また、コスモス児童館は、利用者の増加や利用者ニーズの多様化等により現状よりも高い利便性・機能性が求められています。

この2つの施設の機能を集約し、新たな子育て支援拠点施設を設けることは、現状の課題を解決するとともに、さらなる子育て支援施策の拡充へとつながっていきます。

一方、高齢者の健康づくりや福祉の向上のための地域拠点として、福祉会館が活用されています。5つの小学校区(加古小学校区、母里小学校区、天満小学校区、天満南小学校区、天満東小学校区)のうち、加古小学校区には加古福祉会館、母里小学校区には母里福祉会館、天満小学校区には総合福祉会館が立地し、地域の高齢者に多く利用されています。

また、天満南小学校区においては、福祉会館は整備されていないものの、稲美町立 農村環境改善センター(以下、「農村環境改善センター」という。)が設置されており、 農業者や地域住民(高齢者)が利用できる施設としても活用されています。

以上の状況から、天満東小学校区においては、集会機能を有する高齢者の健康づく りや福祉の向上を図る施設が設置されていないため、新たな福祉会館の整備が必要で す。

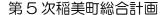
新たな「子育て支援拠点施設」と「福祉会館」を個別に建設することは、建設費だけでなく、その後の管理・運営面におけるコストの増大をもたらすことが懸念されます。そこで、2つの施設を複合し、稲美町子育て支援拠点施設(仮称)(以下、「本施設」という。)とすることで、コストの抑制を図り、さらに各施設の利用者同士の多世代に及ぶ交流を促すことで、そこから様々な相乗効果が生まれるものと期待しています。

このような趣旨のもと、稲美町子育て支援拠点施設整備基本計画(以下、「本計画」という。)では、基本方針、機能・規模など本施設の基本的な考え方を示しています。

### 2. 上位・関連計画における位置づけ

本計画は、「第5次稲美町総合計画」を最上位計画とし、他の関連する上位計画及び個別計画との整合を図りながら策定します。

【計画の位置づけ】





稲美町子ども・子育て支援事業計画 稲美町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画



稲美町子育て支援拠点施設 整備基本計画(本計画)



稲美町人口ビジョン、まち・ひと・しごと 創生総合戦略 稲美町都市計画マスタープラン

稲美町公共施設等総合管理計画

### ①各計画内における子育て支援施設の位置づけ

【第5次稲美町総合計画(後期基本計画)(平成30年3月)における位置づけ】

基本目標	2 誰もが健康でいきいきとし子どもの笑い声が響くまち
政策	2 誰もが安心して暮らせる福祉社会の実現
主要施策	1 子育て支援の推進
	次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つまちをめざして、家
基本方針	庭、地域、学校、職場や関係機関等と連携し、子どもがいきいきと
<b>基</b> 本刀可	育つ環境を整備するとともに、切れ目のない少子化対策と子育て支
	援施策の充実に努めます。
	⑤地域全体で支える子育ての推進
	ファミリーサポート事業や子育てボランティア活動の育成支援を
	行い、地域における子育ての相互援助機能の向上を図るとともに、
施策の展開	子育て世代支援機能の充実のため、多世代間の交流機能を併せ持つ
	子育て支援拠点施設の整備を進めます。また、地域における行事や
	子ども会活動を支援し交流を促進するとともに、子どもが安全に遊
	べる環境や子どもを連れて外出しやすい環境整備に努めます。

### 【稲美町子ども・子育て支援事業計画(平成27年3月)における位置づけ】

基本理念	次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つまち
基本目標	3 地域全体で子育てを支えるまち
	(1)地域での子育て支援の充実
施策目標	②地域子育て支援拠点事業の充実
• 施策	子育て支援センターやコスモス児童館などの地域の身近なとこ
	ろで、親子の交流や子育て相談ができる拠点を整備します。

### 【稲美町人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成 27 年 10 月)における位置づけ】

21187 37 1	
	I 人口の減少克服戦略
	■自然増対策
	• 若い世代の定住を促進するとともに、子どもを産み育てる環境
	を充実し、町内での出生率向上を図る。
ロドナベキ	■社会増対策
目指すべき	• 町内雇用力を高めて、ファミリー世帯の転入を促進するととも
将来の方向	に、UIJターンを増やす。
(人口ビジョン)	Ⅱ 魅力ある稲美のくらしの創生戦略
	・子どもから高齢者まですべての住民が、地域コミュニティの中で
	安全安心に暮らすことができる住民協働によるまちづくりを進
	め、自治会をはじめとする地域コミュニティ活動の振興を図るこ
	とにより、にぎわいと活気ある稲美町を創生する。
	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
	(2) 安心して出産・子育てができる社会の実現
	働く女性のニーズに応じた子育て環境の整備や多子世帯への支援な
	ど、子どもを産み、育てやすい環境を整備する。また、地域全体で
基本目標	子育てを支援する稲美町を創生する。
	③地域全体で支える子育ての推進
(剧土心口料哈)	・ファミリーサポート事業や子育てボランティア活動の育成支援を
	行い、地域における子育ての相互援助機能の向上を図り、安心し
	て子育てができる環境をつくる。
	(主な事業として、子育て支援センター、児童館における地域子)
	育て支援拠点事業などを掲げています。

### 【稲美町都市計画マスタープラン(平成30年3月)における位置づけ】

都市づくりの	人と緑のホームタウン いなみ
理念	
¥★□描	「自然と住環境が調和した安全で快適なまち」
基本目標	「地域の特性をいかした活力とにぎわいのあるまち 」
土地利用	キ 子育て支援拠点区域
の方針	稲美町における子育て支援等の更なる充実を図るため、いなみ野
○フノコルト	水辺の里公園と連携する子育て支援拠点区域を位置づけます。
	2-4 その他の都市施設
	(2) 子育て支援拠点施設の整備
	家庭や地域、関係者・関係団体と連携しながら子育てに関する
都市施設	様々な施策を展開するため、乳幼児等に対応した親子が安心して集
の方針	える場の確保や世代間交流をはじめとする多目的な交流の確保な
	どのニーズに対応した子育て支援施策の拡充を図るとともに、子育
	て支援センター・児童館機能を集約した新たな子育て支援拠点施設
	の整備を図ります。

### 【稲美町公共施設等総合管理計画(平成29年3月)における位置づけ】

	少子化や核家族化等が進むなど、子育て支援施設はニーズが多
子育て支援	様化しており、今後は、地域の実情を踏まえ、適切な維持管理を行
施設	い、幼児等が安心して快適に施設を活用出来るよう計画的な整備を
	行います。

### ②各計画内における高齢者支援施設に関する位置づけ

【第5次稲美町総合計画(後期基本計画)(平成30年3月)における位置づけ】

基本目標	2 誰もが健康でいきいきとし子どもの笑い声が響くまち
政策	2 誰もが安心して暮らせる福祉社会の実現
主要施策	4 自立のための生活支援と地域福祉活動の推進
	誰もが自立した生活を送れる地域社会をめざして、母子・父子世
	帯や生活困窮世帯等の援助を要する世帯に対し、県などの関係機関
基本方針	と連携して自立のための相談・支援に努めるとともに、民生委員児
<b>基本</b> 月到	童委員協議会や社会福祉協議会等と連携し、地域福祉活動を推進し
	ます。また、健康づくりや福祉の向上のための地域拠点として、福
	祉会館の活用や適正な運営・整備に努めます。
	④福祉会館の活用
施策の展開	福祉の向上のための地域の拠点として、福祉会館の利用を促進す
	るとともに、適正な管理・運営や施設整備に努めます。

### 【稲美町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画(平成30年3月)における位置づけ】

基本理念	地域包括ケアシステムの構築
	(1)地域包括ケア体制の充実
	(2) 高齢者の健康づくり
重点目標	(3) 生きがいづくりと社会参加
	(4)福祉のまちづくりの推進
	(5) 介護保険サービスの現状と事業量について
	6 施設サービス
	(2) 老人福祉センター
施策目標	く今後の取り組み>
• 施策	高齢者人口の増加に伴い、高齢者の生きがいと健康づくりのため
	の活動の場として、福祉会館事業がますます必要となってきます。
	今後も事業の充実に努めます。

### 【稲美町公共施設等総合管理計画(平成29年3月)における位置づけ】

	福祉会館等の高齢者福祉施設は、今後の高齢化に伴う需要の増
保健•福祉	加と本町の財政負担を考慮しながら、適切な維持管理に努めます。
施設	また、その他の保健・福祉施設についても、住民のニーズに対応で
	きるよう適切な維持管理に努めます。

### 3. 施設のコンセプト

本施設は、第 5 次稲美町総合計画における「誰もが安心して暮らせる福祉社会の実現」に向けた取り組みを具現化するための複合施設です。

また、稲美町都市計画マスタープランに位置づけられた子育で支援センター・児童 館機能を集約した新たな子育で支援拠点施設です。

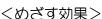
「ここに来れば親子で遊べる・親子で学べる」、「地域のつながりを感じられる」をコンセプトとし、住民に親しまれる施設になることをめざします。

#### ①基本方針

本施設は、子育て支援拠点として、次代を担う子どもの健全で幸福な成長を促す場であるとともに本町全体の子育てを支える力の向上をめざします。

また、高齢者の健康増進やいきがいづくりの場を提供するとともに、多様な世代の 交流による活力あるまちづくりの一助となる施設をめざします。

# ここに来れば親子で遊べる・親子で学べる 地域のつながりを感じられる



次代を担う子どもの健全で幸福な成長

子育てを支える力の向上

多様な世代の交流による活力あるまちづくり

### ②施設の目的・役割

基本方針を実現するための目的・役割は、以下のとおりです。

- ・乳幼児等に対応した親子が安全・安心・快適に利用できる場
- 親子がともに遊び学ぶことで成長できる場
- ・子育てや地域イベント等の情報発信による子育て支援を提供する場
- 高齢者の健康の増進やいきがいづくりの場
- 子どもと高齢者のふれあえる機会があり、世代間交流が生まれる場

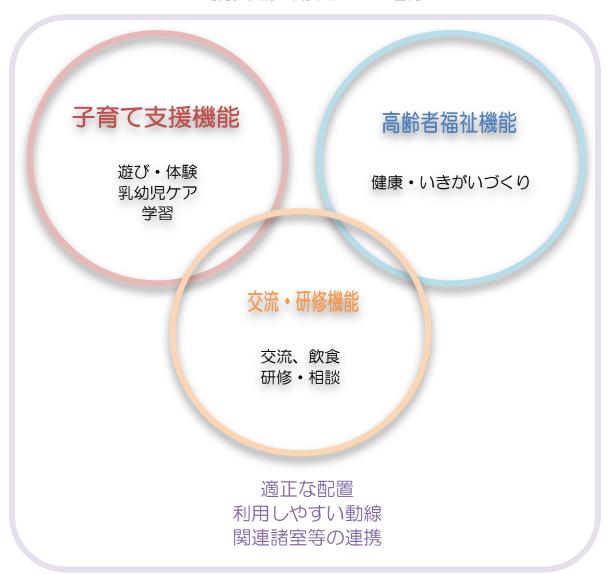
### 4. 施設機能の概要

本施設は、「子育て支援機能」、「高齢者福祉機能」、「交流・研修機能」の大きく分けて3つの機能で構成します。

- •「子育て支援機能」には、遊び・体験、乳幼児ケア、学習機能を導入します。
- •「高齢者福祉機能」には、健康・いきがいづくり機能を導入します。
- •「交流・研修機能」には、交流、飲食、研修・相談機能を導入します。

諸室構成については、関連諸室等との連携や利用者の動線に配慮し、より適正な配置とし、それぞれの機能と事業活動における必要な諸室の考え方を各ゾーンとして計画します(詳細は31~37ページ)。

### 【施設機能の概要 (イメージ図)】



### 5. 建設候補地エリア

子育て支援拠点施設として町内全域の利用を想定し、主に自動車利用を前提とした 駐車場の確保を見込むと、一定規模の敷地面積が必要になるとともに、利用環境の面 からは、市街地近傍に位置し、アクセスのしやすさに配慮する必要があります。

また、町内における小学校区別の集会機能のある公共施設の偏在を是正するためには、天満東小学校区内に建設する必要があります。

前述のことを考慮し、また関連整備費用の抑制、周辺環境との調和及び近隣公共施設との連携等を視野に入れた適地における整備が望まれます。

これらを踏まえ建設候補地の選定を行った場合、市街地や幹線町道(町道百丁場・ 五軒屋線)の近傍に位置しつつも、市街化調整区域のため一定規模の面積確保が可能 である、下記の図の点線枠で囲った区域を「建設候補地エリア」とします。



【建設候補地エリア】

【建設候補地エリアの概況】

区域	稲美町岡「いなみ野水辺の里公園」周辺		
敷地面積	約 3,500 ㎡		
郑地山傾	(建物面積:1,000 ㎡程度 駐車場:40 台~50 台程度)		
区域区分	市街化調整区域(農業振興地域含)		
• 自動車:稲美町役場から約 2.3km、JR土山駅からは約 4.4kr			
主なアクセス	・バス交通:神姫バス母里行き「十七丁」バス停下車で徒歩5分		

### 6. 建設候補地の選定にむけて

建設候補地については、以下のことに留意しながら、総合的な判断のもと、選定していきます。

### ①子育て支援拠点区域の位置づけ

稲美町の最上位計画である第5次稲美町総合計画では、「誰もが安心して暮らせる 福祉社会の実現」をめざしています。

施策の展開にあたっては、地域全体の子育て支援の推進に向けて、「地域における 子育ての相互援助機能の向上を図るとともに、子育て世代支援機能の充実のため、多 世代間の交流機能を併せ持つ子育て支援拠点施設の整備」の必要性を明記しています。

【第5次稲美町総合計画(後期基本計画)(平成30年3月)における位置づけ】

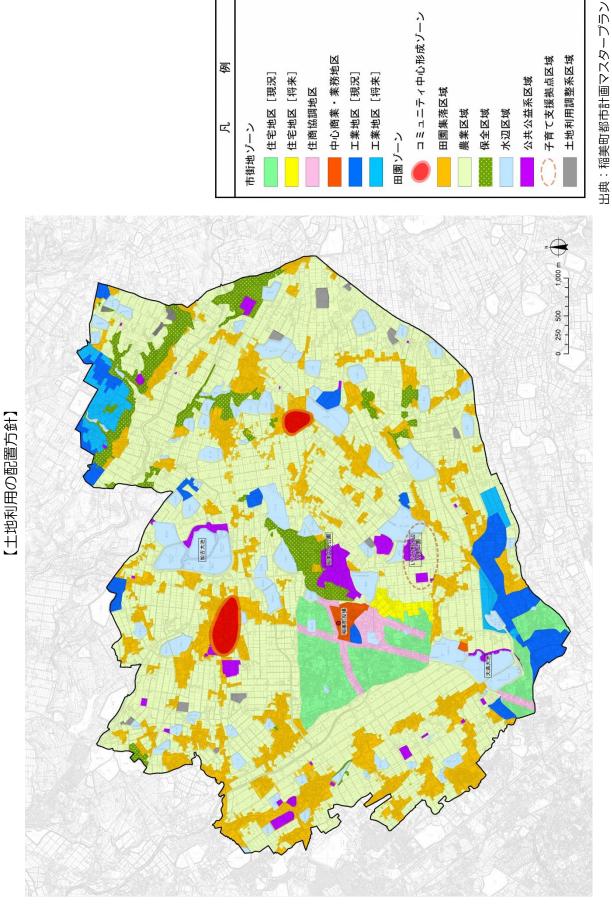
【おりが信子・動脈自引色(及為全本引色)(十成 00 十 0 71)に 100 7 0 0 0 0 0 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1			
基本目標	2 誰もが健康でいきいきとし子どもの笑い声が響くまち		
政策	2 誰もが安心して暮らせる福祉社会の実現		
主要施策	1 子育て支援の推進		
	次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つまちをめざして、家		
基本方針	庭、地域、学校、職場や関係機関等と連携し、子どもがいきいきと		
<b>基</b> 本刀町	育つ環境を整備するとともに、切れ目のない少子化対策と子育て支		
	援施策の充実に努めます。		
	①安心して結婚ができる社会の実現		
	②子どもの健やかな成長のための支援		
	③子育て家庭への支援		
	④ワーク・ライフ・バランスの推進		
	⑤地域全体で支える子育ての推進		
施策の展開	ファミリーサポート事業や子育てボランティア活動の育成支援を		
心束の展用	行い、地域における子育ての相互援助機能の向上を図るとともに、		
	子育て世代支援機能の充実のため、多世代間の交流機能を併せ持つ		
	子育て支援拠点施設の整備を進めます。また、地域における行事や		
	子ども会活動を支援し交流を促進するとともに、子どもが安全に遊		
	べる環境や子どもを連れて外出しやすい環境整備に努めます。		

稲美町の将来の都市像のあり方について定めた稲美町都市計画マスタープランにおいて、土地利用の方針として「子育て支援拠点区域」をいなみ野水辺の里公園周辺に位置づけたことを踏まえ、当該区域内より本施設の建設候補地を選定していきます。

### 【稲美町都市計画マスタープラン(平成30年3月)における位置づけ】

都市づくりの	人と緑のホームタウン いなみ
理念	
基本目標	「自然と住環境が調和した安全で快適なまち」
<b>基本日</b> 惊	「地域の特性をいかした活力とにぎわいのあるまち 」
土地利用	キ 子育て支援拠点区域
の方針	稲美町における子育て支援等の更なる充実を図るため、いなみ野
()//J业I	水辺の里公園と連携する子育て支援拠点区域を位置づけます。
	2-4 その他の都市施設
	(2) 子育て支援拠点施設の整備
	家庭や地域、関係者・関係団体と連携しながら子育てに関する
都市施設	様々な施策を展開するため、乳幼児等に対応した親子が安心して集
の方針	える場の確保や世代間交流をはじめとする多目的な交流の確保な
	どのニーズに対応した子育て支援施策の拡充を図るとともに、子育
	て支援センター・児童館機能を集約した新たな子育て支援拠点施設
	の整備を図ります。

コミュニティ中心形成ゾーン 中心商業・業務地区 土地利用調整系区域 > 子育て支援拠点区域 逐 工業地区 [現況] 住宅地区 [現況] 住宅地区 [将来] 工業地区[将来] 公共公益系区域 住商協調地区 田園集落区域 農業区域 保全区域 水辺区域 더 市街地ゾーン 田園ンーン



11

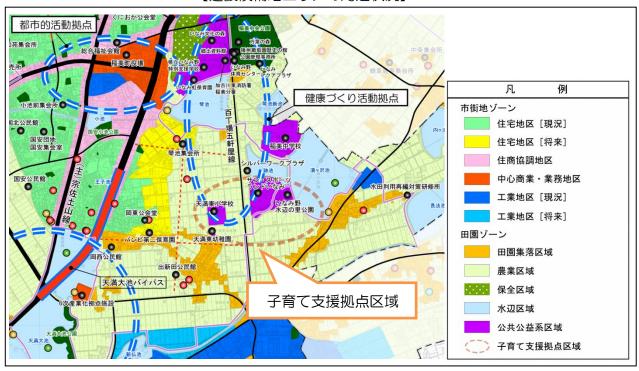
### ②他の公共施設との連携・協力の図りやすさ

本施設を他の公共施設との連携や協力が図りやすい場所に建設することにより、さらなる住民サービスの向上につながるため、相乗効果が期待できる場所を建設候補地として選定していきます。

【連携・協力が見込まれる公共施設と主な事業等】

連携・協力が見込まれる 公共施設	主な事業等		
稲美中央公園	「こどもの国」、「公園遊具」等		
いなみ文化の森	図書館「絵本の読み聞かせ」等、交流館「各種催し物」等、ホール「各種イベント事業」等		
いなみ野体育センター	「三世代交流イベント」		
いなみ野水辺の里公園	「学習展示棟」、「観察池」、「魚のおうち」		

### 【建設候補地エリアの周辺状況】



出典:稲美町都市計画マスタープラン

### ③交通のアクセスが良い場所

建設候補地エリア内のいなみ野水辺の里公園は、稲美町役場から約 2.3km の場所に位置しており、近隣には、幹線町道である町道百丁場・五軒屋線があります。

町道百丁場・五軒屋線は、道幅も広く、また沿線には、本町の公共施設も充実して おり、町内でも交通のアクセスが良いエリアとなっています。

### ④駐車スペースが十分に確保できる場所

本施設の利用者の多くは、自動車での来訪が想定されるため、一定規模以上の駐車場が必要ですが、建設候補地エリアの中から、約3,500㎡の敷地を確保できる場所を建設候補地として選定していきます。

### ⑤高齢者福祉施設等における課題解決につながる場所

本町においては、集会機能を有する高齢者福祉施設等として、福祉会館や農村環境 改善センターが整備されています。これらの施設は、小学校区別にみると天満東小学 校区において同様の施設が設置されていないため、新たな施設の整備が必要です。

本施設の整備にあたり、子育て支援拠点施設に高齢者福祉施設を複合化することにより、稼働率も高まり、効率的・効果的な施設運営が期待されます。

さらに、多様な世代との交流の機会の増加により、高齢者のいきがいづくりや健康 づくりにつながるものと考えます。



【高齢者福祉施設等(集会機能付)の分布状況】

### Ⅱ. 子どもと高齢者を取り巻く現状と課題

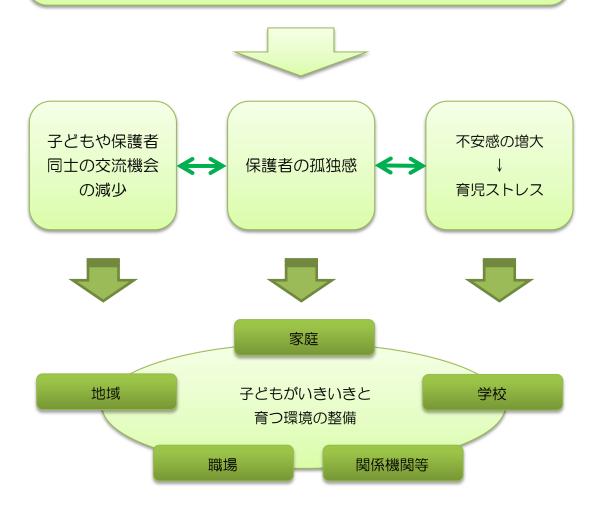
### 1. 子どもを取り巻く現状と課題

### ①子どもや子育てをめぐる環境の変化

子どもや子育てをめぐる環境が変化する中で、子どもがいきいきと育つ環境の整備 に向けて、家庭、地域、学校、職場、関係機関等によって連携した取り組みが求められています。

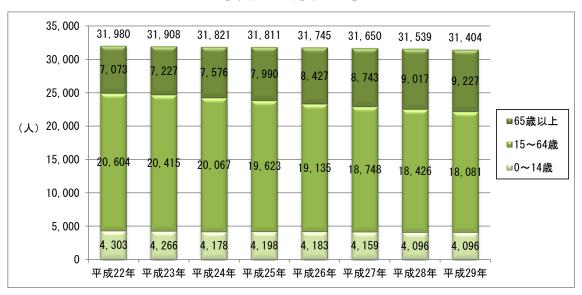
### 【子どもや子育てをめぐる環境の変化】

- ●少子化や核家族化の進行
- ●女性の社会進出による共働き家庭の増加
- ●地域の相互扶助機能の低下



### ②人口の推移

年齢 3 区分別人口の推移をみると、総人口は微減傾向にあり、平成 29 年では 31,404 人となっています。そのうち年少人口(0~14歳)は、平成 26 年以降微減傾向が続いており、平成 29 年には 4,096 人となっています。



【年齢3区分別人口】

資料:住民基本台帳(各年3月31日現在)

### ③子どもの人口の推移及び推計

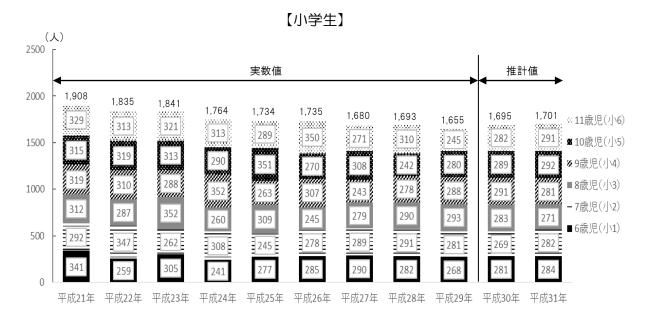
O 歳から 5 歳までの就学前児童の人口の推移及び推計をみると、平成 25 年から 平成 27 年までは微増し、その後、平成 28 年からは微減傾向となり、平成 31 年に は 1.472 人まで減少していく見込みとなっています。

#### (人) 実数値 推計值 1,482 1,521 1,528 1,532 1,500 1,516 1.499 1,480 1,458 1.472 1,440 (60) (60) ∷5歳 ■4歳 **%**3歳 iiiiii ■2歳 'unnit tanan - 1歳 ■0歳 平成21年 平成22年 平成23年 平成24年 平成25年 平成26年 平成27年 平成28年 平成29年 平成30年 平成31年

【就学前児童】

資料: 町地域福祉課(各年3月31日現在)(「稲美町子ども・子育て支援事業計画」の推計値)

6歳から 11歳までの小学生の人口の推移及び推計をみると、平成 26年の 1,735人から平成 27年には 1,680人まで減少し、その後は、増減を繰り返しながら、平成 31年には 1,701人になる見込みです。



資料:町地域福祉課(各年3月31日現在)(「稲美町子ども・子育て支援事業計画」の推計値)

### 2. 子育て支援拠点施設の現状と課題

本町には、子育て支援拠点施設として、子育て支援センターとコスモス児童館の2 施設があり、それぞれの施設における現状と課題について、次のとおり整理します。

### ①子育て支援センター

### ●施設概要について

- ・稲美町役場に隣接する稲美町いきがい創造センター内に設置されています。
- 子育て支援センターには、子育て支援員が常駐し、育児や子育でに関する相談に応じ、また子育でに関する指導・助言も行っています。
- 子育て支援センターでは、季節の行事や親子遊びの体験を通して、子育てのスキルを学習していく場の提供、また子育てサークルなどへの支援、育児講座などの事業を実施し、子育て家庭に対する支援を行っています。

### 【子育て支援センターの施設概要】

丽大地	稲美町国岡 1 丁目 1 番地
所在地	いきがい創造センター2 階
設置年度	平成12年度
	(いきがい創造センターの大規模改修により整備)
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階建
床面積	約 126.30 ㎡ ※いきがい創造センター内に設置
開館状況	開館時間 平日 午前8時30分~午後5時15分
	休館日 土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始

### 【子育て支援センターの内観】



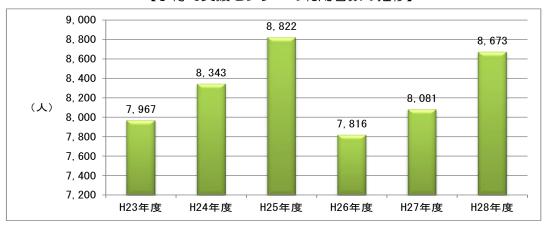
#### ●運営体制について

• 子育て支援センターの運営体制は、4名の職員により運営されています。

### ●利用状況について

- 利用者数は、年間約7,800~8,900人の状況です。
- ・平成 23~25 年度においては増加傾向にありましたが、平成 26 年度に大きく減少したものの、平成 27 年度に再び増加に転じ、その後は増加傾向にあります。
- 事業別にみると、出会いの広場の利用者が最も多く約4,000人が利用しています。

### 【子育て支援センターの利用者数の推移】



資料:子育て支援センター活動報告

### 【子育て支援センターの事業別利用状況】

事業名	事業内容	対象	年度別利用者数:(人)			
尹未位		/ 3	H25	H26	H27	H28
コロボックルの会	1年を通して季節行事・親子あそび、育児の学習等を年に25回 開催	1歳6ヶ月 〜就学前児 と保護者	1,897	1,799	1,448	1,494
ネンネの会(O歳) ヨチヨチの会(1歳) 〈H27年から追加〉 1歳あそびの会(1歳) てくてくの会(2歳)	わらべ歌や親子あそび、座談会、保健士・ 栄養士、助産師への相 談、それぞれの会を年 6回開催	0~2歳	529	586	802	798
子育て学習塾 『ぴよぴよお勉強会』	育児を学ぶ 年 12 回開催(前期 6 回・後期 6 回)	妊婦と0歳 の母親	314	280	281	330
ツインズ	育児の情報交換 年6回開催	多胎児を 育児中の親	30	29	44	25
出会いの広場	絵本の読み聞かせ 自由開放	親子が自由 に遊べる場	3,743	3,225	3,499	3,929
子育て個別相談	心理カウンセラーに よる面接・電話相談	_	362	401	487	481
講演会•季節行事	育児に関する学習機 会の提供、行事体験に よる楽しみの共有	_	1,312	911	824	1,026
三世代交流事業	父親、祖父母の育児学 習機会の提供、祖父 母・両親・子どもが一 同に集える場の提供	三世代	299	332	430	290
子育てボランティア育 成	「先輩ママの会」 ファミサポ等の研修	_	336	253	266	300
合 計 8,822 7,816 8,081 8,67					8,673	

資料:子育て支援センター活動報告

### ●施設の課題について

• 子育て支援センターは、近年の利用者数の増加に伴い、各種子育て支援事業を実施 するための十分なスペースが不足している状況にあります。

### ②コスモス児童館

### ●施設概要について

- ・コスモス児童館は、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に設置された施設です。
- コスモス児童館は、町の北西部に位置しており、稲美町役場から約 2.4km の場所にあります。
- コスモス児童館は昭和 61 年度に完成し、平成 29 年度には、築 31 年が経過します。
- ・コスモス児童館では、親子で情報交換をしながらともに育ち合える仲間づくりができる場を提供しています。また、3歳児とその保護者を対象にした教室「幼児のつどい」や、楽しい遊びや親子体操、季節のイベント、親子が自由に遊べる「コスモスひろば(自由開放)」など、様々な事業を行っています。

### 【コスモス児童館の施設概要】

所在地	稲美町中村 1259 番地		
設置年度	昭和61年度		
構造•階数	鉄筋コンクリート造・1階建		
敷地面積	851.00 m <sup>2</sup>		
面積	261.15 m <sup>2</sup>		
開館時間 平日・土曜日 午前 9 時~午後 5 時			
開館状況	11月1日から1月末日までは、午後4時まで		
用貼扒洗	休館日 日曜日、国民の祝日及び年末年始		
	(12月28日~翌年1月4日)		

### 【コスモス児童館の外観・内観】



### ●運営体制について

・ コスモス児童館の運営体制は、4名の職員により運営されています。

### ●利用状況について

- 近年における利用者数は、8,000 人以上で推移しており、平成 26 年度以降、増加傾向にあります。また、平成 28 年度には 10,000 人を超える状況となっています。
- 事業別では、幼児のつどい、コスモスひろばの利用が多い状況にあります。
- コスモスひろばへのニーズが高まっています。

### 【コスモス児童館の利用者数の推移】



資料:町地域福祉課

### 【コスモス児童館の事業別利用状況】

事業名	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		年度別利用者数:(人)			
尹未口	学术バロ	対象	H25	H26	H27	H28
幼児の つどい	1年を通して運動、絵本・ 紙芝居、歌・リズム遊び、 製作、季節行事等を年に 35回開催	3歳児と保護者	5,113	5,539	4,092	5,571
コスモス ひろば(自 由開放)	親子が自由に遊べる場を 開放	未就学児とその保護者	2,397	2,508	4,158	4,288
児童とアフ タースクー ル	夏休みに工作などの夏休 み教室を開催	小学生	691	608	736	650
母親クラブ	母親同士が手工芸や子育 て講座を通して交流でき る居場所を提供	子どもを持つ母親	224	244	291	461
合 計			8,425	8,899	9,277	10,970

資料:町地域福祉課

### ●施設の課題について

- ・コスモス児童館は、昭和61年度に設置されてから、平成29年度には築31年が経過します。老朽化が進んでおり、今後の施設の維持管理方法の検討が課題となっています。
- ・運営面においては、事業を行える部屋が遊戯室のみであり、複数の事業を同時に開催できないといった問題が生じています。事業内容や利用者数の増大に応じた適切な利用スペースの確保が課題となっています。
- ・施設の利用状況は高いものの、駐車場の収容台数が6台程度と少ないため、イベント開催時等においては、駐車場不足への対応が課題となっています。
- 施設内は、原則飲食禁止となっており、利用者からは、飲食スペースを求める意見が寄せられていますが、現在の施設では対応が難しく、飲食スペースの確保が課題となっています。

### 【コスモス児童館の諸室構成・遊戯室の内観】



出典:コスモス児童館パンフレット

【設置台数の少ない駐車場】



### 3. 子育て支援拠点施設への要望からみた課題

### ①「稲美町子ども・子育て支援事業計画」におけるアンケート調査の概要

※「稲美町子ども・子育て支援事業計画」より抜粋

・稲美町子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、子育で中の親や子どもの生活実態・意見・要望などを把握し、策定の基礎資料とする目的で、就学前児童のいる世帯及び小学生のいる世帯を対象に「稲美町子育で支援に関するアンケート調査」を実施しました。

### 【アンケート調査の概要】

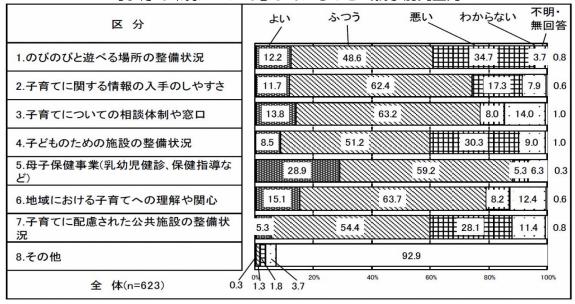
	稲美町に在住の就学前児童及び就学児童(小学生)の保護者		
調査の対象	• 就学前児童 1,221名		
	• 就学児童(小学生) 1,290 名		
調査の方法	調査票を郵送により配布、回収		
調査の期間	平成25年12月6日~平成25年12月20日		
	• 就学前児童		
	配布数:1,221 回収数:623 回収率:51.0%		
回収結果	• 就学児童(小学生)		
	配布数:1,290 回収数:654 回収率:50.7%		

### ●子育て環境について感じていること

#### 就学前児童

- ・就学前児童では、どの項目も「ふつう」の割合が最も高くなっています。「よい」の割合が最も高いのは「母子保健事業(乳幼児健診、保健指導など)」(28.9%)で、「地域における子育てへの理解や関心」(15.1%)、「子育てについての相談体制や窓口」(13.8%)が続いています。
- ・一方、「悪い」の割合が最も高いのは「のびのびと遊べる場所の整備状況」(34.7%)で、「子どものための施設の整備状況」(30.3%)、「子育てに配慮された公共施設の整備状況」(28.1%)が続いています。

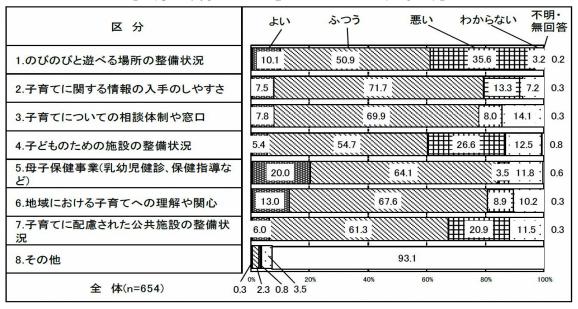
### 【子育て環境について感じていること(就学前児童)】



### 小学生

- ・小学生では、どの項目も「ふつう」の割合が最も高くなっています。「よい」の割合が最も高いのは「母子保健事業(乳幼児健診、保健指導など)」(20.0%)で、「地域における子育てへの理解や関心」(13.0%)が続いています。
- ・一方、「悪い」の割合が最も高いのは「のびのびと遊べる場所の整備状況」(35.6%)で、「子どものための施設の整備状況」(26.6%)、「子育てに配慮された公共施設の整備状況」(20.9%)が続いています。

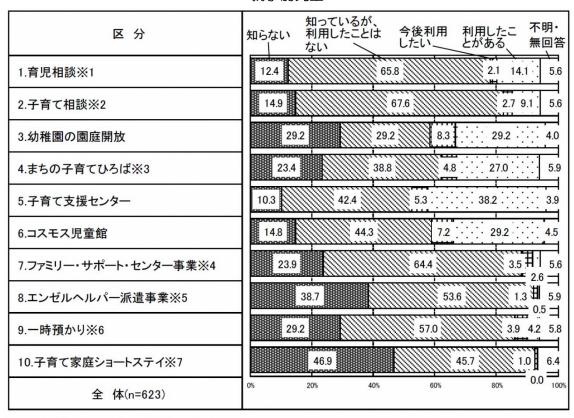
【子育て環境について感じていること(小学生)】



### ●各事業の認知度・利用状況について

- 各事業の認知度・利用状況では、多くの事業で「知っているが利用したことはない」の割合が最も高くなっています。各事業の認知度は事業により差がありますが、どの事業も一定程度の認知があることがうかがえます。
- •「利用したことがある」の割合が最も高いのは「子育て支援センター」(38.2%)で、「幼稚園の園庭開放」(29.2%)、「コスモス児童館」(29.2%)が続いています。
- 一方、「知らない」の割合が最も高いのは「子育て家庭ショートステイ」(46.9%)で、「エンゼルヘルパー派遣事業」(38.7%)が続いています。

### 【各事業の認知度・利用状況】 -就学前児童-

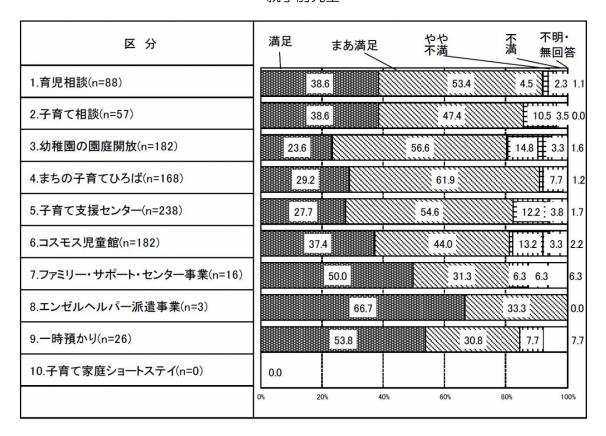


- ※1・・・健康福祉課で保健師が実施(健康・育児など)
- ※2・・・子育て支援センターで専門家により実施
- ※3・・・就学前の親子が集える場、ボランティアなどにより町内施設で実施
- ※4・・・地域住民(サポート会員)による子どもの一時預かりや送迎サービス事業
- ※5・・・子育て家庭に対する子守家事援助
- ※6・・・町内保育所で実施
- ※7・・・児童福祉施設などで一定期間養育保護する事業

### ● (利用したことがある方の)満足度について

・各事業の満足度では、回答のあったすべての事業で満足している人(「満足」「まあ満足」)の割合は80%を超えており、各事業の満足度が高いことがうかがえます。

### 【子育て環境について感じていること】 -就学前児童-



### ●稲美町子ども・子育て支援事業計画におけるアンケート調査からみた課題

- ・子育て環境について感じていることに対して、就学前児童及び小学生のいずれにおいても、「のびのびと遊べる場所の整備状況」、「子どものための施設の整備状況」、「子育てに配慮された公共施設の整備状況」の評価が低いことから、利用者のニーズに応じた子育て環境を充実につながる施設整備が求められます。
- ・各事業の認知度・利用状況については、利用したことがあるとの回答があった上位 3つまでに子育て支援センターとコスモス児童館が選ばれていることから、引き続き、子育て支援施設を利用しやすい環境を維持していくことが求められます。
- ・利用したことがある方の満足度については、いずれの事業においても満足度が高いことから、既存の事業内容の継続的な実施が求められます。一方、子育て支援センターとコスモス児童館に対して、やや不満・不満との回答もそれぞれ 15%以上の評価もあることから、さらなるサービスの向上が求められます。

稲美町子ども・子育て支援事業計画におけるアンケート調査の結果からみた課題からもわかるように、本施設の整備にあたっては、ニーズの高い既存の事業を継続的に展開するとともに、さらなるサービス向上をめざしていきたいと考えています。

### ②稲美町子ども・子育て会議における主な意見

• 稲美町子ども・子育て会議における主な意見と課題は以下のとおりです。

### 【子ども・子育て会議における主な意見】

### 【課題】

### ■子育てに配慮された屋内及び屋外の公共スペース

・稲美町子ども・子育て支援事業計画におけるアンケート調査のうち、「のびのびと遊べる場所の整備」や「子どものための施設整備」、「子育てに配慮された公共施設の整備」については、公園等の屋外施設だけでなく、屋内施設についての整備要望も含まれているのではないか。

### 子育て支援・ 世代間交流の ための十分な

スペース確保

### ■世代間交流のできる場所

・ 就学前児童と小中学生、母親同士、祖父母と孫等、地域に おける世代間の交流ができる場の整備が必要である。

### ■利用しやすく、ゆとりのある子育て支援スペース

- 子育て支援センターとコスモス児童館はいつも利用者がいっぱいで混雑しており、施設が手狭になっている。
- ・飲食できる場所がほしい。

### ■多様な公共施設との連携が可能な施設整備

・他の公共施設とも連携・協力できる場所に新たな子育て 支援拠点施設がよいのではないか。

### ■交通環境に配慮された子育て支援施設

・コスモス児童館では駐車場が不足している。特にイベント 開催時には周辺施設の駐車場を借りなければ駐車できな い状況である。 周辺施設との 連携及び交通 環境の整備

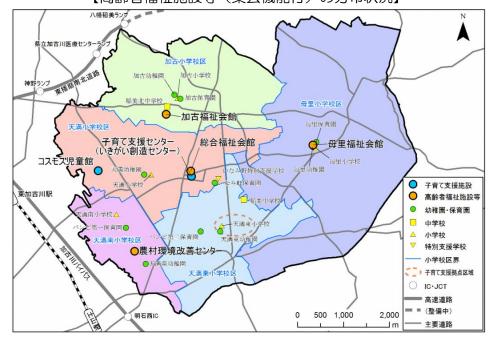
### ■利用ニーズに応じた施設運営のあり方

・施設の自由開放時間が限定されているため、住民の利用ニーズにあっていない。

利用ニーズに 応じた施設運 営

### 4. 高齢者を取り巻く現状と課題

- 本町における高齢者福祉施設等のうち、福祉会館については、3館(総合福祉会館、 母里福祉会館、加古福祉会館)が整備されています。これらは、老人福祉法による 老人福祉センターとしての位置づけにより、地域の高齢者に対して各種の相談に応 じるとともに、各種のサークルや教室、健康増進、老人クラブの活動の場等として 整備されています。
- ・天満南小学校区では、集会機能をもつ農村環境改善センターが整備されています。 【高齢者福祉施設等(集会機能付)の分布状況】



・老人福祉センターには、その機能や規模に応じて特A型とA型、B型の種別があり、総合福祉会館は特A型、母里福祉会館、加古福祉会館はいずれもB型として 位置づけられています。

【高齢者福祉施設等(集会機能付)の概況】

施設名称	所在地	主な諸室	完成年度(築年数) 構造・階数 延床面積
総合福祉会館**1	稲美町国岡6丁目184番地 天満小学校区	集会室、和室、健康 相談室、会議室、診 察室、浴室、事務室	昭和 59 年度(34 年) R C 造 • 2 階建 1,030.23 ㎡
母里福祉会館	稲美町野寺113番地の1 母里小学校区	集会室、和室、健康 相談室、調理実習室、 事務室	平成 2 年度(29 年) R C 造 • 1 階建 *3 495.44 ㎡(909.70 ㎡)
加古福祉会館**2	稲美町加古 4369 番地の 3 加古小学校区	集会室、和室、健康 相談室、調理実習室、 事務室	平成 9 年度(21 年) 鉄骨造・1 階建 *3 495.13 ㎡(970.58 ㎡)
農村環境改善 センター**4	稲美町六分-541番地の2 天満南小学校区	会議室、和室、研修 室、多目的ホール	昭和 62 年度(31 年) RC造・1 階建 840.18 ㎡

<sup>※1</sup> 総合福祉会館:総合的な機能をもち、町の保健事業推進の拠点として各種健診や健康相談に対応できる機能を兼ねています。

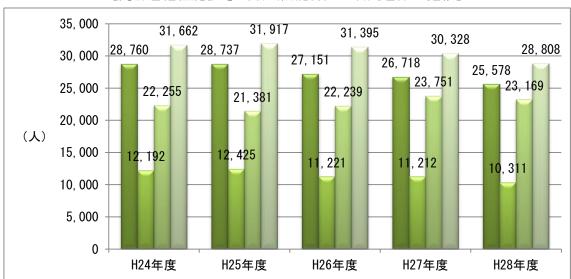
<sup>\*2</sup> 母里·加古福祉会館:総合福祉会館の機能を補完する形で地域活動の拠点として住民に利用されています。

<sup>※3</sup> 母里・加古福祉会館の延床面積:() は増築した多目的ホール分の面積を含む延床面積です。

<sup>\*\*4</sup> 農村環境改善センター:農業経営と農家生活の改善、合理化及び農業者の健康増進、地域連帯感の醸成等を図ることを目的としています。

### ●利用状況について

- 利用状況については、農村環境改善センターが最も多く利用されています。次いで、総合福祉会館、加古福祉会館、母里福祉会館の順となっています。
- 平成24~28年度における利用者数の推移をみると、加古福祉会館は微増傾向にあるものの、他3施設においては微減傾向にあります。



#### 【高齢者福祉施設等(集会機能付)の利用者数の推移】

資料:町所管課資料

#### ●課題

• 高齢者福祉施設等のうち、集会機能を有する施設は、小学校区でみると、天満東小学校区には設置されていないため、地域的な偏在を是正する必要があります。

■総合福祉会館 ■母里福祉会館 ■加古福祉会館 ■農村環境改善センター

- ・既存の高齢者福祉施設等においては、利用者数の減少がみられますが、今後、高齢者のさらなる増加が見込まれます。これらの施設は、高齢者の健康の増進やレクリエーション活動により、いきがいを感じられる地域の拠点施設としての役割がよりいっそう求められることと思われます。
- 今後は、身近な圏域での地域の拠点施設の整備が必要です。

### 5. 新たな子育て支援拠点施設整備にむけて

本町における既存の施設の現状と課題及び多様化する利用者ニーズを踏まえ、本施設に求められる設備・性能等を以下のように整理します。

### ①子育て支援拠点施設に求められる設備・性能等

• 子育て支援拠点施設に求められる設備・性能等については以下のとおりです。

【子育て支援拠点施設に求められる設備・性能等】

項目	設備・性能等
	・乳児が安心してハイハイできるスペース
	• 授乳室及び託児スペース等の充実
	• 飲食できるスペース
スペースの確保に関する要望	<ul><li>図書コーナー</li></ul>
	<ul><li>いつでも遊べるフリースペース</li></ul>
	・利用しやすい駐車場
	・世代間の交流ができる十分なスペース
	・利用者ニーズにあった設備・備品等
設備に関する要望	・子どもの安全に配慮した設備
	(トイレ、出入口のオートロック、机の角等)
施設運営に関する要望	• 土日運営を含めた開館日時の増加
	• 効率的・効果的な施設運営

### ②高齢者福祉施設に求められる設備・性能等

・高齢者福祉施設に求められる設備・性能等については、以下のとおりです。

### 【高齢者福祉施設に求められる設備・性能等】

項目	設備・性能等
	・多様な教養・娯楽が楽しめるスペース
	・高齢者のためのイベントや講座等の開催でき
スペースの確保に関する事項 	るスペース
	・地域住民が利用できる集会スペース
設備に関する事項	・利用者ニーズにあった設備・備品等

### Ⅲ.施設整備計画について

### 1. 敷地利用計画

### ①ゾーニング

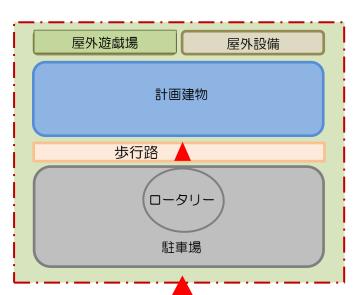
- 主に自動車での来訪が想定されるため、より多くの駐車場を確保することができる 建物の配置とします。
- 空調設備の室外機置場などのスペースを整備し、メンテナンス等のサービス路を設けます。
- 子どもが屋外で安全に遊べる遊戯場の確保についても検討します。

#### ②動線計画

- 駐車場と計画建物の間には歩行路を設け、駐車場から建物までの安全な歩行者動線 を確保します。
- 普通乗用車が転回出来る大きさのロータリーを設け、母子や高齢者の車昇降の利便性の向上を図ります。
- 車椅子の利用者に配慮し、建物玄関近くに障害者等用駐車スペースを配置します。

### ③景観・環境配慮

• 敷地境界沿いは緑化を行うなど、周辺環境との調和を図り、温かなイメージを持つ施設整備を行います。



【敷地利用計画(イメージ)】

### 2. 諸室の構成

子どもから高齢者まで誰もが使いやすく、またコンパクトかつシンプルな利用動線 により、多世代に及ぶ交流が生まれやすい一階建ての建物を計画しています。

また、ホールは施設利用時の利便性、回遊性等に配慮するとともに、集いの場や談話の場として、子育て支援拠点施設と高齢者福祉施設の両施設の利用者が共有することにより、交流が促進されるような配置とします。

### ①施設機能の考え方

### 【施設機能の考え方】

### 子育て支援機能

### 遊び・体験ゾーン

子どもたちが多様な遊びや体験を楽しめるスペース

### 乳幼児ゾーン

乳幼児を安全に遊ばせる ことができるスペース

### 学習ゾーン

・未就学児〜小学生が絵本や児童図書をゆっく り読めるスペース

### 交流•研修機能

### 交流・飲食ゾーン

- ・保護者同士の交流の場
- ・ 高齢者同士の交流の場
- 子どもと高齢者の交流の場
- ・飲食可能な休憩・談話スペース

### 研修・相談ゾーン

- ・保護者向けの子育て関連情報を提供するスペース
- ・保護者向け子育て相談スペース
- 高齢者の生活・健康づくりについての 相談スペース

### 高齢者福祉機能

### 健康・いきがいづくりゾーン

- ・多様な教養・娯楽が楽しめるスペース
- 高齢者のためのイベントや講座等の開催スペース
- ・地域住民が利用できる集会スペース

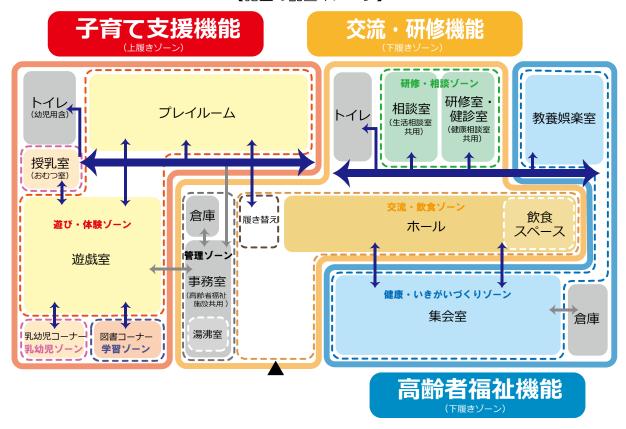
### ②諸室の構成

### 【諸室の構成】

施設機能	ゾーン	諸室
	遊び・体験ゾーン	遊戯室
	世()・1本意の一)	プレイルーム
子育て支援機能	51 (+1D)	乳幼児コーナー
丁月(又版版化	乳幼児ゾーン	授乳室(おむつ室)
	学習ゾーン	図書コーナー
	その他	トイレ(幼児用含)
	交流・飲食ゾーン	ホール
	文川・飲食ノーノ	飲食スペース
	研修・相談ゾーン	研修室・健診室(健康相談室共用)
交流:研修機能		相談室(生活相談室共用)
义》1191成形		事務室(高齢者福祉施設共用)
	管理ゾーン	倉庫
		湯沸室
	その他	トイレ
	健康・いきがい	教養娯楽室
高齢者福祉機能	づくりゾーン	集会室
	その他	倉庫

### 3. 諸室の配置イメージ

【諸室の配置イメージ】



### 4. 各ゾーンの利用イメージ

#### 遊び・体験ゾーン



(写真:三木市立児童センター) 出典:みきらぢ HP

- いつでも自由に利用でき、全身を使ってのびのびと遊べるゾーンとします。
- 様々な遊具があり、親子でのびのび と活発に遊び、楽しむことができる ゾーンとします。

### 【各ゾーンの利用イメージ】

### 研修・相談ゾーン



(写真:やまぐち子育て福祉総合センター) 出典:山口市子育て応援サイト HP

・相談員が常駐し、育児や健康づくり 等についてだれもが気軽に相談で き、かつ相談者のプライバシーに配 慮されたゾーンとします。

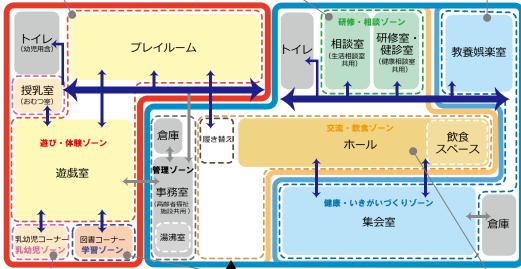
#### 健康・いきがいづくりゾーン



(写真:光市総合福祉センターあいぱーく光) 出典:光市 HP

サークル活動や様々な娯楽も楽しめる多目的ゾーンとします。

# 上履き



# | 下履き

乳幼児ゾーン



(写真:川崎市地域子育て支援センターたいら) 出典:川崎市宮前区 HP

授乳室やベビーベッド、個別ブース があり、乳児がハイハイしても安全 で安心なゾーンとします。

学習ゾーン



(写真:さよう子育て支援センター) 出典:佐用町 HP

絵本や児童図書が自由に閲覧でき、 お母さんが子どもたちに読み聞かせ できるゾーンとします。

交流・飲食ゾーン



(写真:東加古川子育てプラザ) 出典:特定非営利活動法人子育てサポートきらりing HP

- 多様な人々が互いに交流を持ちやす くなる仕掛けとして各種イベントの 開催など、きっかけづくりの機会を 提供します。
- ・椅子やテーブル、自動販売機等があり、会話や飲食を楽しむなど多目的に利用できるゾーンとします。

### 5. 機能別整備イメージ

#### ①子育て支援機能

#### 遊び・体験ゾーン

#### 共 通

子どもたちが安心して遊ぶことができる安全な仕上げとします。

#### 遊戯室

- 年齢の異なる子どもが、一緒に楽しく遊ぶことができる場所とします。
- 極力外部に開かれ、自然採光や通風を確保した明るく快適な空間とします。

### プレイルーム

・パーティションで区切られるスペースを複数設け、子どもの年齢や体格差等に応じた利用ができる仕様とします。

### 乳幼児ゾーン

#### 共 通

- 安全で利用しやすいユニバーサルデザインとします。
- 保護者やスタッフの目が届きやすいレイアウトとします。

#### 乳幼児コーナー

- ・遊戯室と隣接しながらも、乳児が安全に過ごせる場所とします。
- ・乳児が安心して睡眠できるようにベビーベッドを設置します。

### 授乳室(おむつ室)

- ・乳幼児コーナー付近に設け、移動ストレスを最小限に抑えます。
- ・保護者が他者を気にせず、安心して授乳やおむつ交換ができる個別ブースを設けます。

### 学習ゾーン

### 図書コーナー

- 就学前児童から小学生までが、絵本や図書をゆっくり読めるスペースを設けます。
- ・読書習慣を育み、好奇心や学習意欲を高める工夫を施します。
- 子どもたちが自由な体勢で絵本等に親しめる仕様の床仕上げとします。
- ・書棚は、子どもたちが図書を手に取れる高さや配置とします。

#### その他

### トイレ(幼児用含)

- 子どもが利用しやすい幼児用のトイレを設けます。
- 衛生器具は幼児の体に合わせたサイズとします。
- 子どもの体格差に関係なく利用できる床置き型小便器とします。
- 床や壁等は、清掃しやすい仕様とします。
- 子どもが楽しめるトイレのデザインとします。

### ②交流 • 研修機能

### 交流・飲食ゾーン

### 共 通

• 集いや談話の場として、清潔感が保たれた開放感のある明るい雰囲気の場とします。

#### ホール

- 町内サークルや子育て支援活動等の情報発信を行うコーナーを設置します。
- ベビーカーの保管スペースを確保します。

#### 飲食スペース

飲食だけでなく休憩も行えるテーブルや椅子を配置します。

### 研修・相談ゾーン

### 研修室・健診室(健康相談室共用)

・ホワイトボード等、研修に必要な設備を設けます。

#### 相談室(生活相談室共用)

- プライバシーに配慮された相談しやすい場とします。
- ・話し声等が室外に漏れないよう十分な遮音性を確保します。

### 管理ゾーン

### 事務室

- 利用者の総合管理を行うため、エントランスやホールを一望できる受付カウンターを設けます。
- ・遊戯室の安全管理を行いやすい場所に配置します。
- 高齢者福祉機能の管理も行います。

### 倉庫・湯沸室

- ・ 職員が効率的に業務を行い、また利用者のプライバシーに関する資料を管理できるような場所に倉庫を設けます。
- ・湯沸室は、授乳のためのお湯の提供を迅速に行えるように事務室内に設置します。

### ③高齢者福祉機能

### 健康・いきがいづくりゾーン

### 共 通

- ・高齢者や障がい者をはじめとするすべての方々が気軽に利用しやすいように快適性・利便性を重視したつくりとします。
- 安全で利用しやすいようユニバーサルデザインとします。

#### 教養娯楽室

• 囲碁や将棋、舞踏等の高齢者が文化活動を行えるスペースを設けます。

### 集会室

- ・老人クラブやサークル活動、子どもと高齢者の世代間交流等、多目的に活用できるスペースとします。
- ・イベントや行事対応で、ホールと一体的に広く利用できる配置とします。

### その他

### トイレ

• 多目的トイレを設置し、トイレ内には非常通報設備を設け緊急時にも迅速に対応できるようにします。

#### 倉庫

集会室等で利用する机や椅子等が収納できる広さを確保します。

### IV.施設運営の考え方

### 1. 管理・運営の基本方針

本施設は利用者の利便性や安全性に配慮し、一元的な管理体制のもと効率的かつ効果的な管理・運営に努め、子どもから高齢者まで、多くの住民に長く親しまれる施設となるように適切な管理・運営を行っていきます。

### ①計画的かつ効率的な施設管理

本施設の管理・運営にあたっては、今後、町の直営、または、民間の資源やノウハウを活用する運営形態について十分検討を行います。

### ②きめ細かなサービスの提供

- 利用者がいつでも訪れたくなる雰囲気づくりや、施設に対する満足度が高まるよう なサービスが提供できるよう努めていきます。
- 子どもから高齢者まで誰もが、安心できるような居心地の良い環境を提供できるように努めます。

### ③他の公共施設との連携

・事業の実施にあたっては、まちの活性化やさらなる住民サービスの向上といった相 乗効果を発揮できるように周辺の他の公共施設との連携を図ります。

### ④利用者ニーズに応じた開館日時の設定

・本施設の開館日、開館時間、料金設定等は、実施するサービス内容を検討し、利用 者の利便性に配慮しながら、設定していきます。

### 2. その他

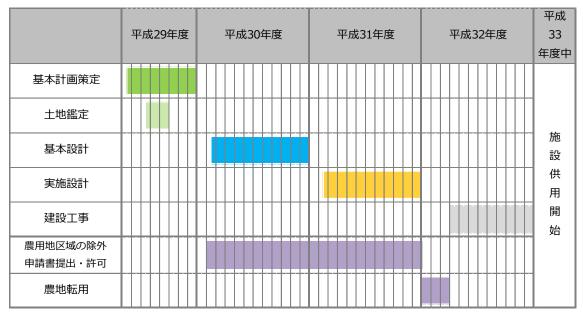
現在の子育て支援センター及びコスモス児童館については、現在の機能を本施設へ集約するため、他用途への転用等を含めて、今後、これらの施設の活用方法を検討していきます。

### V.整備スケジュール

### 1. 整備スケジュール

本施設の整備にあたっては、概ね以下のスケジュールで進めていきます。

【整備スケジュール】



### 2. 今後について

本施設のオープンまでに、設計や施工等の施設建設に係る事項以外に、建設候補地 エリア内は全域が農業振興地域となっており、建設候補地に選定された土地に農用地 区域が指定されている場合は、農用地区域の除外申出書を担当行政庁へ提出し、その 許可を得る必要があります。

そのため今後は、各関係機関と調整を図り適切な手続きを行いながら、平成 33 年度中のオープン及びサービス提供開始に向けて、本施設の整備を推進していきたいと考えています。

### 稲美町子育て支援拠点施設整備基本計画

平成 30 年 3 月 発行 / 稲美町 編集 / 稲美町 健康福祉部 地域福祉課

〒675-1115 兵庫県加古郡稲美町国岡1-1 TEL 079-492-9136(直通) FAX 079-492-8030